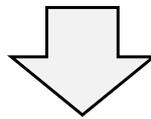


5. 河川整備計画の点検結果(案)

富士川水系

第1回委員会資料

- ① 流域の社会情勢の変化
 - 流域内人口は減少しているものの、想定氾濫区域内人口は増加傾向にあり、さらに開発による社会経済活動の活発化が見込まれ、**治水対策の重要性**が増している。
- ② 河川整備に関する新たな視点
 - 現時点で目標を上回る洪水は発生していないが、気候変動による影響を考慮した内容を含め検討する必要がある。



・流域の社会情勢の変化や河川整備に関する新たな視点を踏まえ、河川整備計画の内容を検討する必要がある。

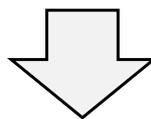
16

5. 河川整備計画の点検結果(案)

富士川水系

修正案

- ① 流域の社会情勢の変化
 - 流域内人口は減少しているものの、**洪水**想定氾濫区域内人口は増加傾向にあり、さらに開発による社会経済活動の活発化が見込まれ、**河川管理者が行う河川整備のみならずあらゆる関係者で行う治水対策の重要性**が増している。
- ② 河川整備に関する新たな視点
 - 現時点で目標を上回る洪水は発生していないが、気候変動による影響を考慮した内容を含め検討する必要がある。



・流域の社会情勢の変化や河川整備に関する新たな視点を踏まえ、河川整備計画の内容を検討する必要がある。

16